

# パーティ とちぎ男女共同参画センター

栃木県宇都宮市

## 「とちぎ男女共同参画センター」 として名称も新たに

パーティの愛称で親しまれている「とちぎ女性センター」は、平成16年4月から、「とちぎ男女共同参画センター」に名称がかわりました(愛称のパーティはそのまま)。男女共同参画セミナー等の啓発・学習・研修事業や女性人材育成事業、自主活動支援事業、交流支援事業、社会参加支援事業などを行っています。次回の講座の企画のために、主催する講座終了時には毎回アンケートをとっているとのこと。「土日や夜間の講座なども設け、いろいろな人に参加してもらえるように知恵をしぼっています」(啓発支援課長・新島美智子さん)。パーティの講座には一時保育を付けていますが、「平成15年度に試験的に1歳児から一時保育を行ったところ、特に支障はなかったので、平成16年度から一時保育は1歳児から可能にしました。将来的には0歳児から可能にしたいと考えています」(事務局長・大木時子さん)

## 女性の人材育成を目的に

とちぎ女性政策塾は、平成17年度には県の審議会等に占める女性の割合を35%にするという目標に向けて、女性の人材育成を目的に行われています。第1期生のうち16名が何らかの形で審議会に関わりを持っており、また数名が議員になるなど、ますますの成果をあげているようです。平成15年度から実施している講師養成講座は、“男女共同参画社会について知識はある”人に、伝えるためのテクニックを教える講座で、地域やグループ学習会などで講師として活躍できる人材を育てています。

## 身近な場所で、 男女共同参画社会を知る

平成14年度から始めた出張セミナーは、申し込みのあった地域や学校、職場などの集会に出向いて、「男女共同参画社会ってなに？」というところから気軽に話をしています。パーティの職員や、講師養成講座の修了者が講師を務めています。平成15

年度の実績としては16件、参加者も一番少ない会が7名、多い時は企業で実施した1200名でした。地域の身近なところで少人数で聞けることが喜ばれたといいます。「企業からの申し込みがあったことが嬉しかったです。その時は工場でしたが、ラインを一時的に止めて男女共同参画の話を聞くというのは画期的なことではないでしょうか。多くの企業でこういった試みができるかというかなり難しいのが現実だと思いますが、もっと多くの企業の中で話ができるように働きかけをしていきたいと思っています」(大木さん)

## 多くの人にパーティに 参加してもらいたい

「パーティを知ってもらうということが課題のひとつにあります。より多くの人に足を運んでもらい、パーティを知ってもらう狙いもあって、フェスタや映画上映などのイベントも実施しています。また、平成16年度の講座のお知らせを載せた、新聞折込を全戸配布しました」  
「もともと“女性センター”という名称だったためか、男性は入りにくかったようです。男性も取り込んでいかないと男女共同参画につながっていかないと思うので、男性を対象にした料理講座や、夫婦などカップルで参加するパートナーシップ講座なども企画しています」



エントランスにはグループ活動のお知らせなどもおいてあります



男女共同参画情報トピックスとして、関連する新聞記事などが掲示されています



事務局長の大木さん(左)と啓発支援課長の新島さん(右)

### ●施設概要

ホール、研修室、情報ライブラリー、託児施設となるこどもの部屋、女性団体等の情報交換や交流の場となる交流サロン、イベントにも利用できるアトリウムや中庭などがある。

### ●事業例

男女共同参画セミナー(基礎、実践)やパートナーシップ講座のほか、起業支援セミナー、子育て中のお母さんを対象にした子育てママの自分時間、オトコの生き方探訪講座などを実施。法律や健康などの女性のための相談や男性相談、調査研究事業などを実施。

### ●住所&交通アクセス

栃木県宇都宮市野沢町4番地1  
JR宇都宮駅西口バス8番乗場より約25分  
とちぎ男女共同参画センターバス停下車徒歩2分

### ●問い合わせ

電話 028-665-7700  
<http://www.parti.jp/>



## ひとりでがんばらないで 応援します あなたの子育て

NPO法人キッズシェルター代表

森田野百合さん 栃木県那須郡

### 森田さんのこれまで

保育の現場で何度か  
母子の別れの場面に立ち会い、  
母親と子どもの支援をしたいと考える。

平成15年3月、  
キッズシェルター設立総会を開催。

平成15年8月、  
NPO法人格を取得。

女性グループ支援事業の  
対象として経費を支援してもらい、  
活動報告集を作成。

とちぎ女性政策塾など  
パルティの講座に参加。  
同窓生のネットワークを構築。

### 母親と子どもの支援を目指して キッズシェルターを設立

幼稚園教師の森田さんをはじめ、小児科医、臨床心理士、助産師、保育士、里親、主婦と一緒に考え、「とちぎつばさの会」の応援も受けて、虐待の予防活動を含んだ子育て支援活動を立ち上げました。平成15年3月に設立総会を行い8月にNPO法人の認可を受けました。「保育の現場で、産科の現場で発起人それぞれが母子の別れの場面に立ち会ってきました。同じ母親として、もし母親が孤立しない適切なサポートがあれば状況はかわっていたかもしれないと痛切に感じ、行政の支援が届かないところで厳しい生活をしている母親や子どもたちの支援を目指して立ち上げを決意しました」(代表・森田野百合さん)

「初年度である今年度は一時保育と託児付きセミナーに力を入れました。一時保育は1時間単位で利用でき、預ける理由も一切問いません。託児付きセミナーは年9回、0歳児からの託児を可能にしました。参加者は子育て中の方や妊娠中の方など毎回30~60名。託児率も最低50%以上で、今回初めて託児デビューした子どもも多く、出産後初めてセミナーに参加したお母さんもうらっしゃいました。保育スタッフは助産所で働くスタッフの皆さんのほか、那須友の会の皆さんもボランティアで参加してくれました」

### パルティの支援を受け活動報告集 「子育て応援メッセージ」を作成

キッズシェルターでは、1年間活動してきた内容をまとめた活動報告集「子育て応援メッセージ」を作成しました。活動の成果が何らかの形になったことで、みんなの励みになったといいます。作成にあたっては、パルティの女性グループ支援事業の対象として経費の支援を受けることができました。もともとパルティの主催する「パソコン講座」や「女性起業支援セミナー」、「とちぎ女性政策塾」などに参加していた森田さん。「特に今年度実施した9回のセミナーはパルティの支援無しには実現できませんでした。それまで何処も貸してくれなかったセミナーの会場もパルティが共催ということで貸していただけましたし、教育委員会の後援ももらうことができました。パルティにチラシをおかせてもらったり、機関紙で紹介してもらったり、広報という私達にとってなかなかできない面を支えていただきました」「とちぎ女性政策塾」の同窓生からなるネットワークも森田さんの強い後ろ盾となってくれています。「政策塾は県内各地から参加しているので、いろいろな力を持った仲間のネットワークができ、自分にはないノウハウを持っている人の力を借りることができる。それが一番良かったです」



活動報告集「子育て応援メッセージ」表紙  
(絵は画家の中川画太さんによるもの)



託児付きセミナーの託児風景